

参加校合同主催・教学マネジメントセミナー2024  
分野横断の学びを支援する組織・方法・担い手について考える  
～文理融合・STEAM教育の時代における新しい学習支援～

MAKE YOUR UNIVERSE.  
一緒にだからつくれる世界を。



# 大正大学チュートリアル教育の成果

2024年12月9日

教学マネジメント推進機構

学修支援センター(DAC)



1. 分野横断の学びを支援するチュートリアル教育
2. 組織的支援の運営体制と発展のための取り組み
3. これまでの取り組みの成果

活動の詳細はDACブログをご覧ください。  
[DAC\(学修支援センター\) | 大正大学\[公式サイト\] \(tais.ac.jp\)](https://tais.ac.jp)



# 1.分野横断の学びを支援するチュートリアル教育

# 新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業

(知識集約型社会を支える人材育成事業)

本学の目指す新時代の人材像を「地域戦略人材」＝「多面的な性質をもつ地域の課題解決に向けて異なる専門分野の多様な人材を統合し、調整する新しいリーダー」と定義し、その育成のため、第Ⅰ類共通教育科目、第Ⅱ類科目学融合教育、第Ⅲ類科目アントレプレナーシップ育成教育を推進する。

## 第Ⅰ類科目(チュートリアル教育・チームティーチング)

探究科目、データサイエンス、リーダーシップ、総合英語

## 第Ⅱ類科目(学融合教育)

学融合ゼミナールⅠ・Ⅱ(タイプA・B・旅する学融合)

## 第Ⅲ類科目(アントレプレナーシップ育成教育)

起業人材コース、企業内リーダーシップコース、地域戦略人材コース

「地域戦略人材」へ

	1年生	2年生	3年生	4年生														
共通教育科目 (第Ⅰ類科目)	<p>データサイエンス教育(計6単位必修)</p> <p>↓</p> <p>PCスキル (新学習指導要領と連動したカリキュラム編成)</p>	<p>数学・統計学の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会の課題解決を意識したデータ分析・検証</li> <li>● ビジュアル分析プラットフォーム「Tableau」を活用した課題解決学修</li> </ul>	<p><b>社会・地域の問題発見力と課題解決力の育成</b></p> <p>① 社会・地域を統計学的視点で分析する力をつける</p> <p>② 人間の生活・文化のあり様をマクロ・ミクロの視点で問題発見する力をつける</p> <p>③ 蓄積されたデータを可視化し、そこから課題解決に向けた意思決定能力を磨く</p>															
	<p>第Ⅰ類科目 幅広い知識と学融合型教育(計21単位必修)</p> <p>① 人間の探究(6単位) 例) 学び方とリベラルアーツ 他</p> <p>② 社会の探究(6単位) 例) 共生社会論 他</p> <p>③ 自然の探究(6単位) 例) 地球サステナビリティ 他</p>	<p>リーダーシップ(3単位必修)</p>																
専門教育科目 (第Ⅱ類科目)		<p>第Ⅱ類科目 学融合(クロスディシプリン)教育(計4単位必修)</p> <p>学融合ゼミナール(2単位)      学融合ゼミナール(2単位)</p> <p>&lt;学修の成果&gt;</p> <p>① 各自の専門分野の知識の幅が広まる</p> <p>② 汎用的能力が高まり、実践知に活用できる</p>	<p>学んだ知識を卒業論文・卒業研究に活用</p>															
共通教育科目 (第Ⅲ類科目)		<p>第Ⅲ類科目 アントレプレナーシップ教育(計24単位必修)</p> <p>履修モデル(選択)による育成する人材毎のカリキュラム(知識・技能・応用・実践)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基礎科目群</th> <th>3科目6単位必修</th> <th>独自性・独創性の態度姿勢の養成 Society50時代に対応し、本学の教育理念に基づいた人間の生き方に関する科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">分野</td> <td>ハードスキル</td> <td>デジタルスキル(データ分析・プログラミングなど)</td> </tr> <tr> <td>ソフトスキル</td> <td>対人スキル(コミュニケーション・リーダーシップなど)</td> </tr> <tr> <td>実践・応用</td> <td>6単位選択必修</td> <td>地学連携、産学協創によるフィールド学修</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24単位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>履修モデル(選択)による人材育成像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ A. 地域戦略人材</li> <li>▶ B. 企業内リーダーシップ人材</li> <li>▶ C. 起業人材</li> </ul>		基礎科目群	3科目6単位必修	独自性・独創性の態度姿勢の養成 Society50時代に対応し、本学の教育理念に基づいた人間の生き方に関する科目	分野	ハードスキル	デジタルスキル(データ分析・プログラミングなど)	ソフトスキル	対人スキル(コミュニケーション・リーダーシップなど)	実践・応用	6単位選択必修	地学連携、産学協創によるフィールド学修	合計	24単位		
基礎科目群	3科目6単位必修	独自性・独創性の態度姿勢の養成 Society50時代に対応し、本学の教育理念に基づいた人間の生き方に関する科目																
分野	ハードスキル	デジタルスキル(データ分析・プログラミングなど)																
	ソフトスキル	対人スキル(コミュニケーション・リーダーシップなど)																
実践・応用	6単位選択必修	地学連携、産学協創によるフィールド学修																
合計	24単位																	



特設サイト

**【定義】** 学生が生涯主体的に学び続けるために、自律的に学ぶ姿勢を身につけることを目標として、学生一人ひとりの学びを総合的に支援する教育体制

※ チューターとは

定義：一人ひとりの学びと成長を支える総合的学修支援者

目的：学生が自律した学修者として成長するための支援

役割：教員・職員と協働して支援する「第3の人材」

種別：**コアチューター**（任期制専任職員）、**クラスチューター**（臨時雇用員）

TAには担えない一人ひとりの学びと成長の伴走者としての**チューター**を独自に育成・採用・研修へ

**【対象】** 学士課程 1, 2 年次に在籍する**第 I 類科目履修者**（留学生を含む）



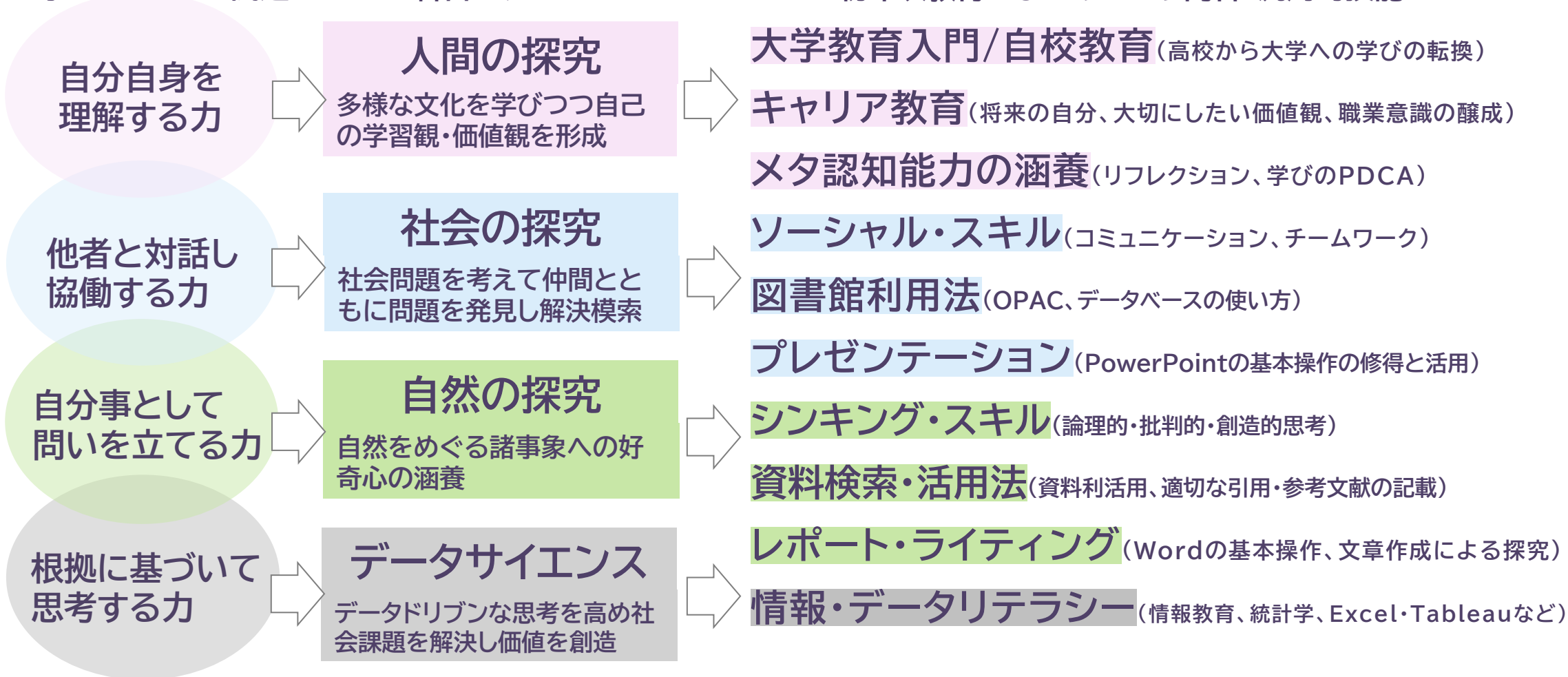
高等教育の**ユニバーサル・アクセス**が進む中、従来のTAとは異なる支援や**一定の社会人経験**が求められる

# 第 I 類科目の教育内容

## 全学DPとの主な関連

## 科目とテーマ

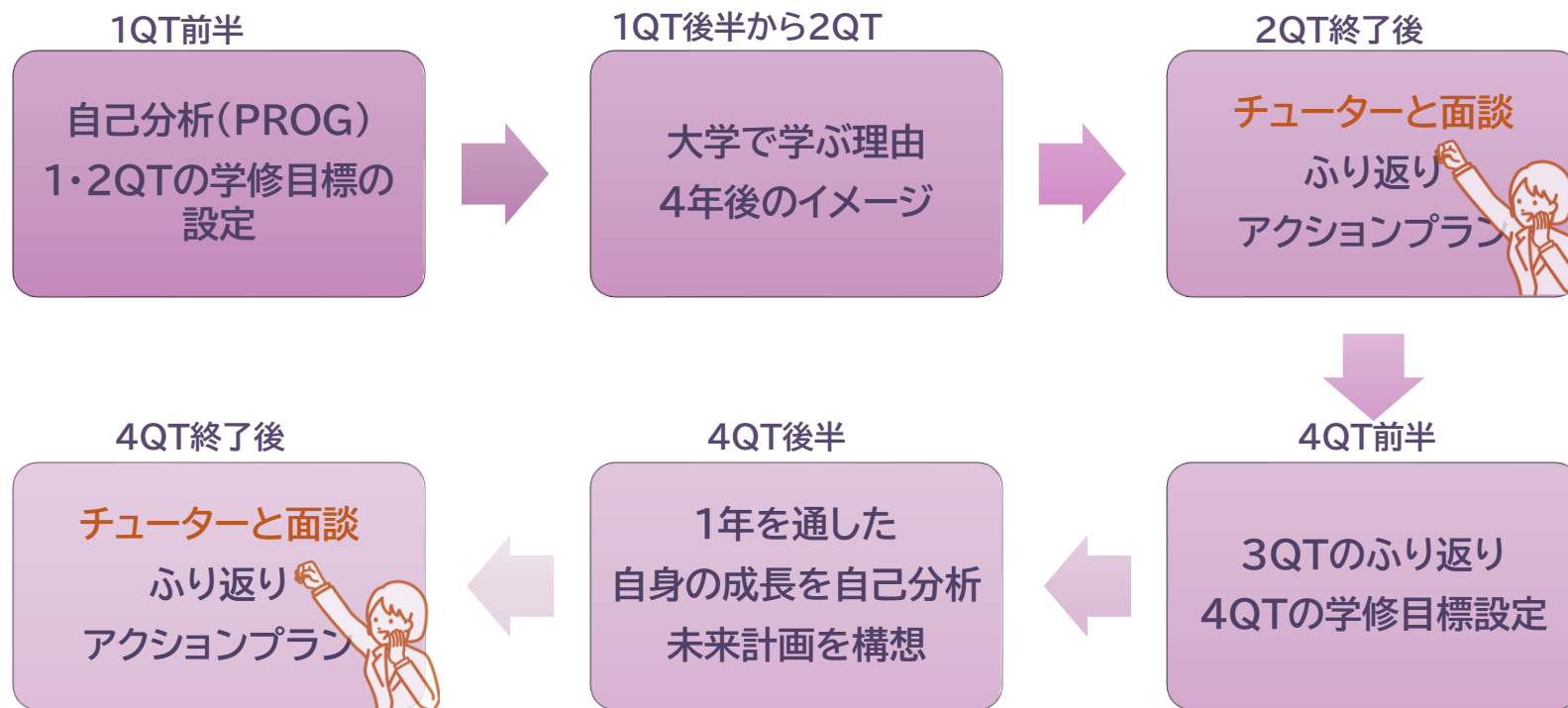
## 初年次教育としてあつかう内容・汎用的技能



# 第 I 類科目の分野横断の学びを支援する仕組み

学生自身が「**学びと成長の記録**」(LMS:修学カルテ)の段階的記入をすすめることで  
自らのキャリア形成に関連づけながら**様々な学びの統合**

## ● 主な記入内容とステップ



LMSの「学びと成長の記録」  
(UR-note修学カルテ)操作画面

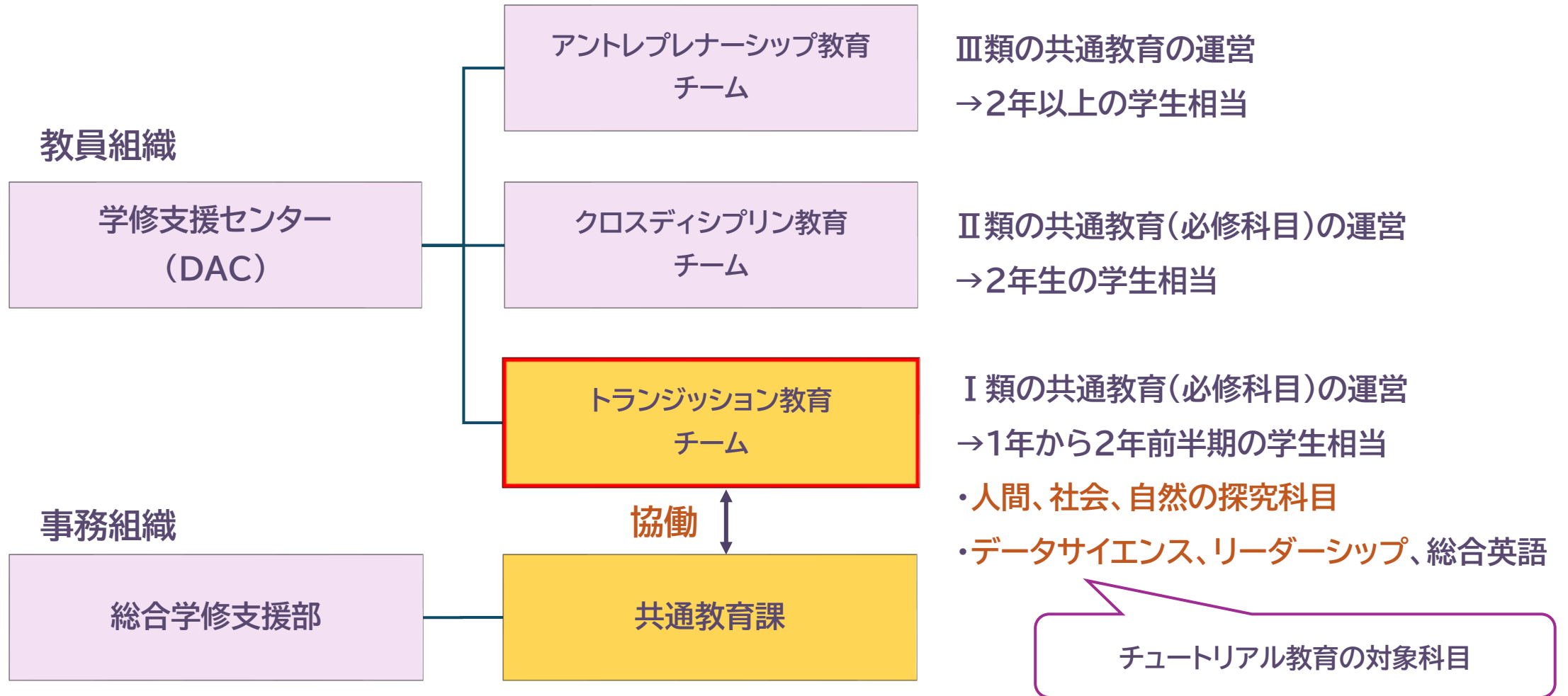


チューターが一人ひとりの学生の学びと成長に伴走

## 2.組織的支援の運営体制と発展のための取り組み



## 組織的支援体制: DACと総合学修支援部の協働



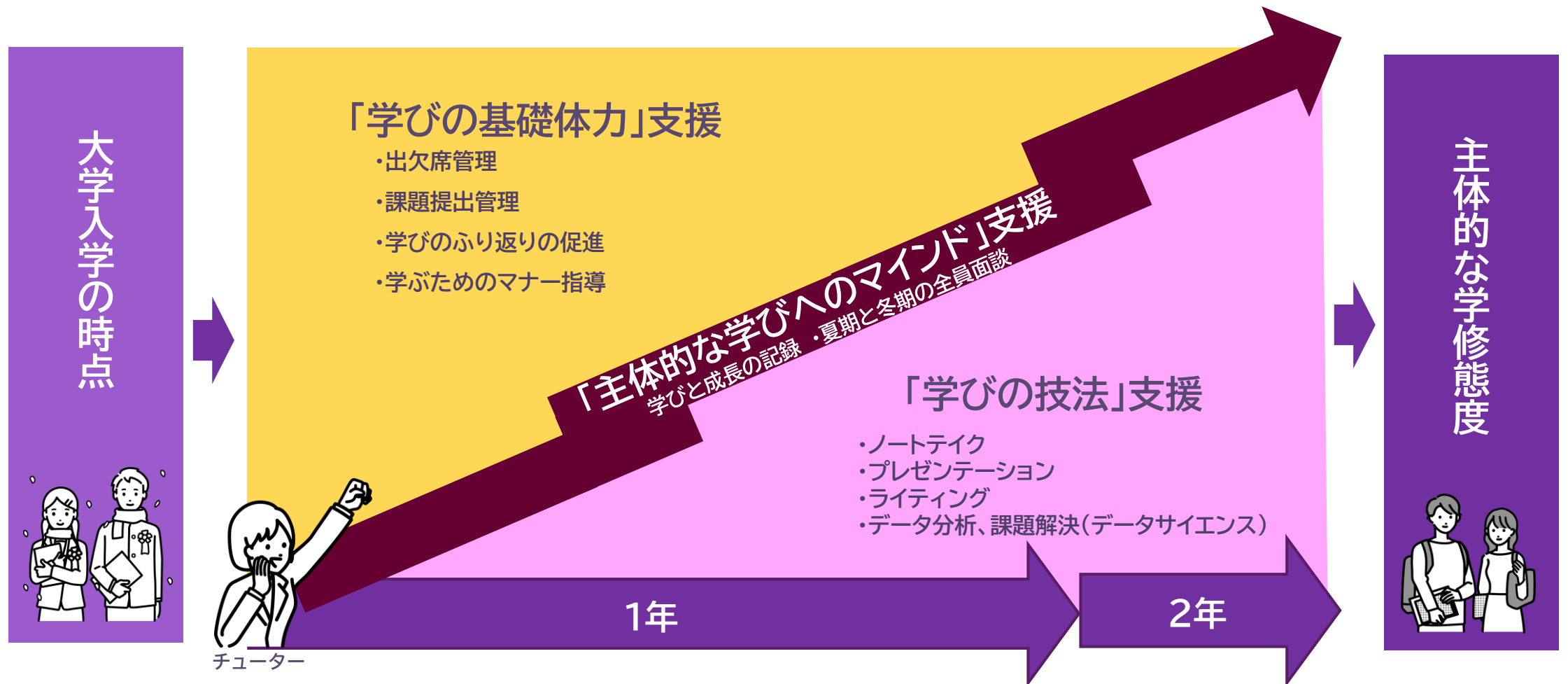
## 組織的支援の運営上の主な問題と取り組み

- チームとして一人ひとりの学生への**持続可能な支援**をどのように展開できるか？
- ➡ 組織のトップと現場の間に教職員からなる「学修支援担当者MTG」を設置し、**不文律の取り組みを可視化して体系化、学修支援のゴールを確認**
  
- どのように学修支援に関わる**仕事の平準化と質的改善**を両立する組織づくりができるか？
- ➡ 採用後研修・ミーティングなどで**チームとしての意識合わせ**を実施しながら**学修支援のふり返りと改善のサイクル**を定着させて業務の平準化と質の向上を図る
  
- 自律的学修習慣の形成支援に加えて、いかにして「**学びの技法**」支援を充実させていくか？
- ➡ 補習(DS)の企画・実施や、**学びのコミュニティ(探究)**において**各科目の到達目標に紐づく学修イベント**を企画・実施

## 第 I 類科目に連動する学修支援の基本方針

目的: 自律的な学修習慣を身につけて、様々な学びを統合しながら主体的な学びへ転換することを支える

- 主体的な学びの態度を育むために必要な支援の要素を心、技、体という3点に整理
- 「主体的な学びへのマインド」の形成を軸に、時期に応じて「学びの基礎体力」から「学びの技法」の支援に重点を移行



# チームとしての意識合わせ

DACトランジションチームミーティング(毎月:教員・職員) チーム運営の全般の方向性、企画など決定

方針

学修支援担当者ミーティング(適宜:教員・職員) 学修支援施策全般の方向性、企画など検討

学科連携定例ミーティング(毎月:教員・全コアT:職員) 学科との学修支援上の連携状況の確認など

実践

課題

探究科目学修支援ミーティング  
(毎週:教員・探究担当コアT・職員)

DS科目学修支援ミーティング  
(毎週:教員・DS担当コアT・クラスT・シニアSA)

探究科目&データサイエンス科目合同 学修支援力向上のワークショップ(専任教員・コアチューター)

人間の探究  
授業後ミーティング  
(教員・コア・クラスT)  
X  
12クラス

社会の探究  
授業後ミーティング  
(教員・コア・クラスT)  
X  
12クラス

自然の探究  
授業後ミーティング  
(教員・コア・クラスT)  
X  
12クラス

データサイエンス  
授業後ミーティング  
(教員・クラスT・シニアSA・SA)  
X  
1年生13クラス

データサイエンス  
授業後ミーティング  
(教員・クラスT・シニアSA・SA)  
X  
2年生14クラス

探究科目チューター研修

データサイエンス科目チューター・シニアSA・SA研修

採用

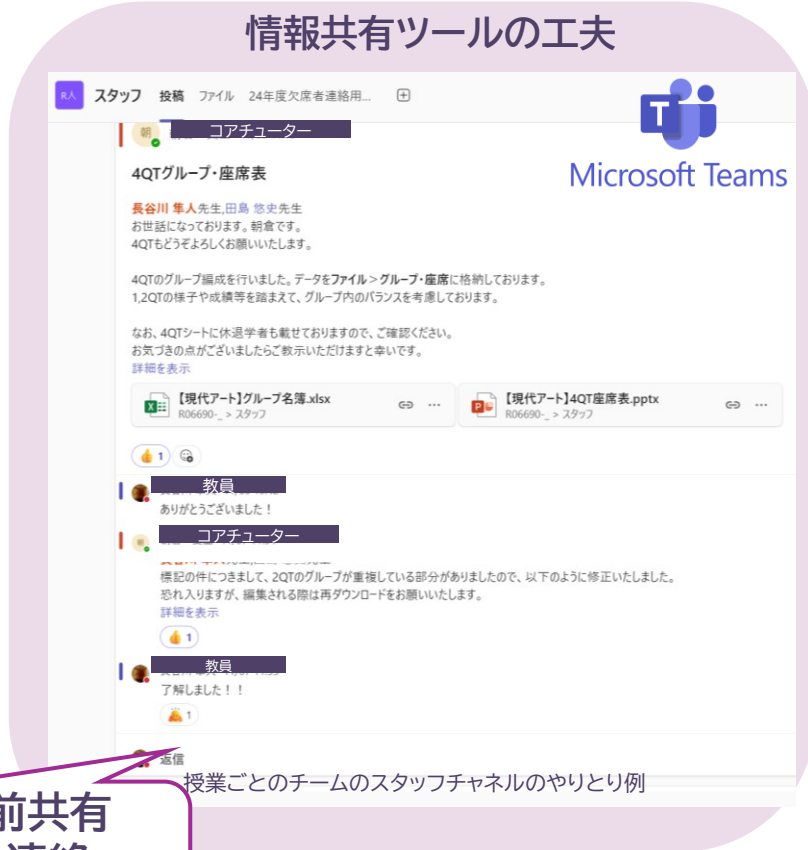
採用

チューター育成プログラム(年1回、全教員・全コアT・職員)

# 授業ごとの学修支援のふり返りと改善例(探究科目のケース)

- 学修支援のふり返りと改善のサイクルを定着させて業務の平準化と質の向上を図る
- 授業後ミーティング(1回あたり最大30分程度)  
 担当教員とチューター参加して授業実施直後に実施  
 チューターがファシリテーターとなり学生の学修状況をふり返り、  
 教員とともに次回授業での学修支援の具体的改善策などを検討
- 授業報告書・グループワーク観察メモ(ツール)  
 チューターが学修状況やコアチューターへの申し送りなどを記入

## 情報共有ツールの工夫



授業内容の事前共有  
 授業内支援の連絡  
 ファイル共有など

授業ごとのチームのスタッフチャネルのやりとり例

必要に応じて  
 課外学修支援へ



コアチューター

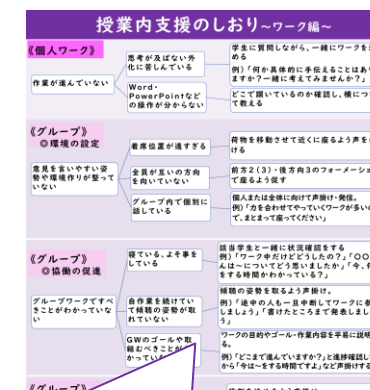
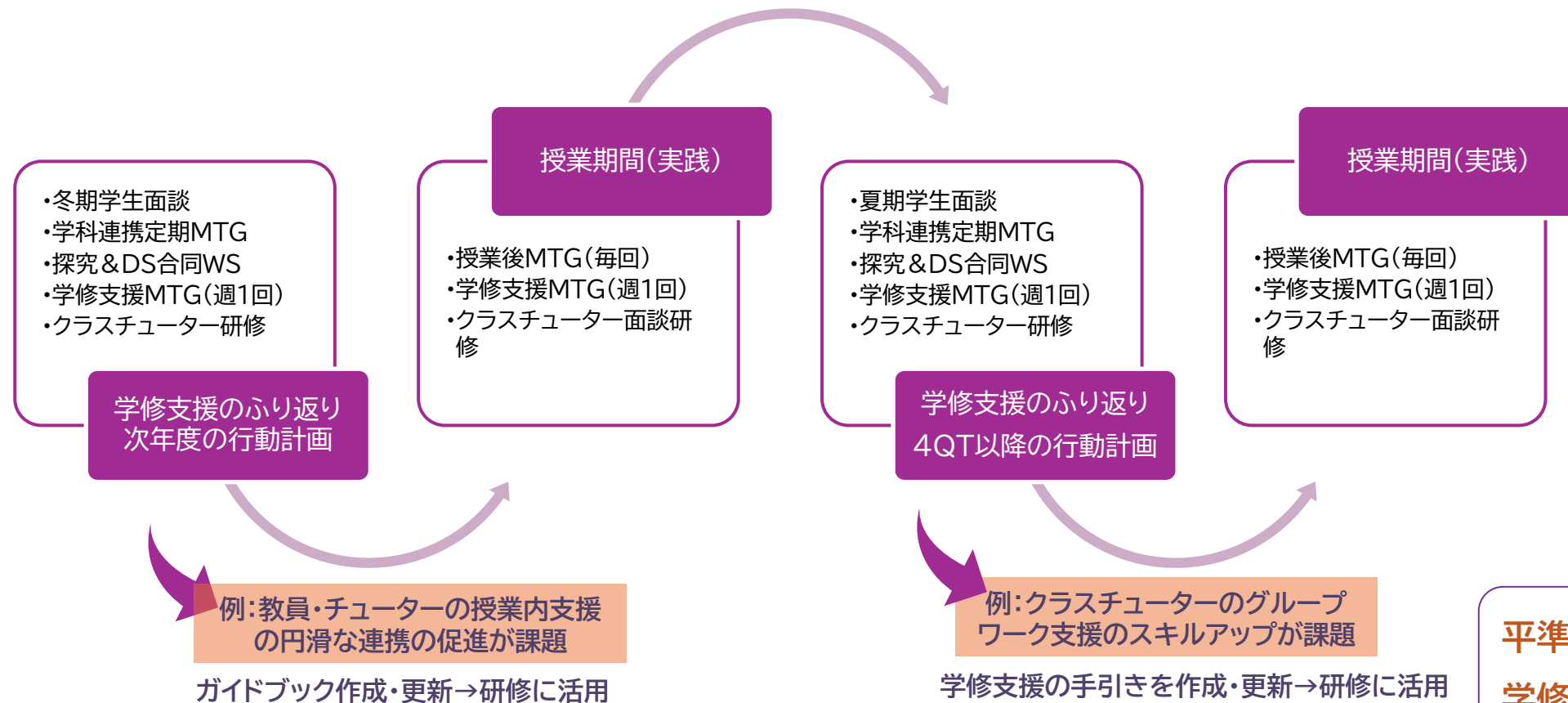
項目	内容	担当者	状況	記入者
授業における確認ポイント(チューターの動き)				
目的	授業内容の理解を深め、学生の学修状況を把握する			
実施方法	授業終了後、15分以内に行う。グループワークの様子を確認し、学生の学修状況を把握する。			
留意点	授業中の学生の学修状況を把握し、必要に応じて個別指導を行う。			
評価	学生の学修状況を把握し、必要に応じて個別指導を行う。			
その他				

授業報告書  
 (Excelファイル)

グループ	メンバー	発言内容	時間	その他
1	田中	授業内容について質問がある。	10:00	
2	山田	グループワークの進捗が遅い。	10:05	
3	佐藤	授業内容について質問がある。	10:10	
4	鈴木	グループワークの進捗が遅い。	10:15	
5	高橋	授業内容について質問がある。	10:20	
6	斎藤	グループワークの進捗が遅い。	10:25	
7	水野	授業内容について質問がある。	10:30	
8	高橋	グループワークの進捗が遅い。	10:35	
9	高橋	授業内容について質問がある。	10:40	
10	高橋	グループワークの進捗が遅い。	10:45	
11	高橋	授業内容について質問がある。	10:50	
12	高橋	グループワークの進捗が遅い。	10:55	
13	高橋	授業内容について質問がある。	11:00	
14	高橋	グループワークの進捗が遅い。	11:05	
15	高橋	授業内容について質問がある。	11:10	
16	高橋	グループワークの進捗が遅い。	11:15	
17	高橋	授業内容について質問がある。	11:20	
18	高橋	グループワークの進捗が遅い。	11:25	
19	高橋	授業内容について質問がある。	11:30	
20	高橋	グループワークの進捗が遅い。	11:35	

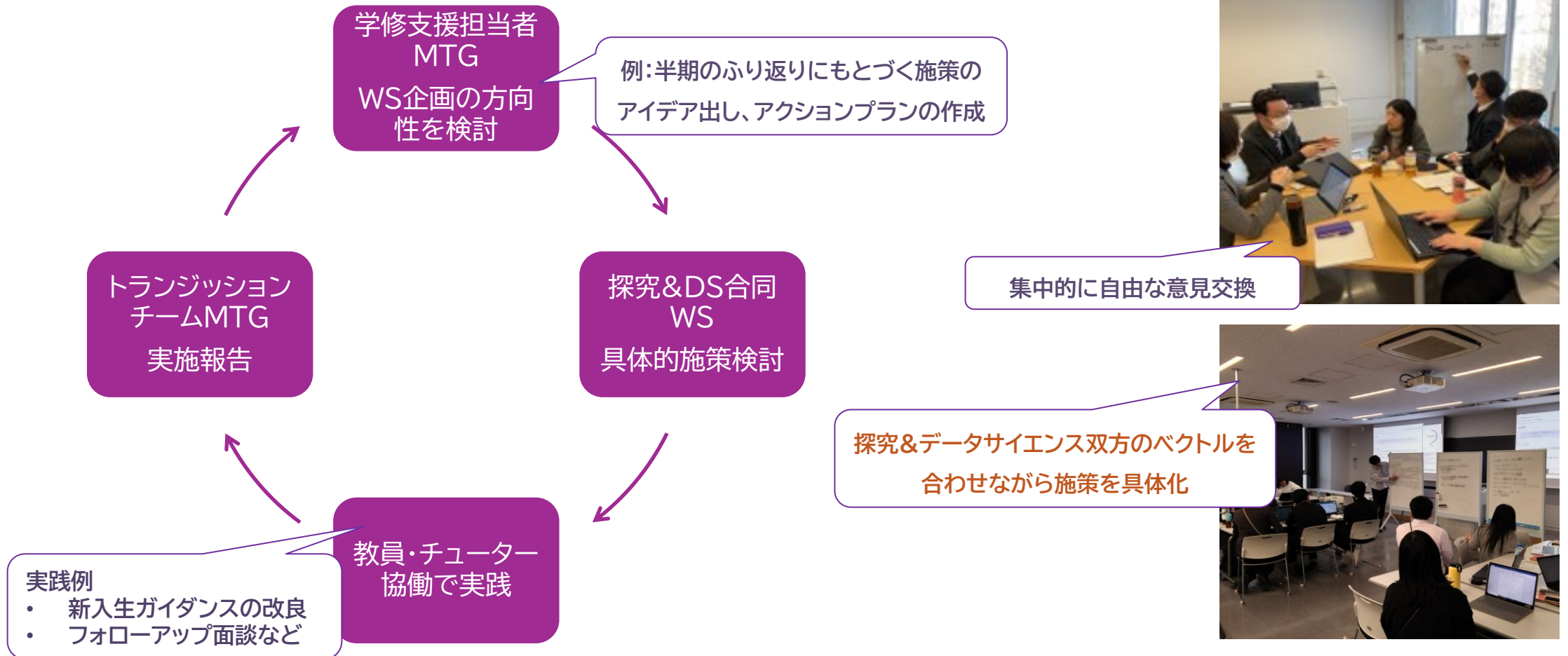
グループワーク観察メモ  
 (Excelファイル)

● 学修支援のふり返りと改善のサイクルを定着させて業務の平準化と質の向上を図る



# 科目合同(探究科目 & データサイエンス)のワークショップ

- 教員・コアT全員参加でベクトルを合わせながら学修支援力の向上を目指す
- 探究やデータサイエンス科目の共通する学修支援施策や関連する教育内容のブラッシュアップ



## 採用後の主な研修(令和5年度実績)

科目名	時期	日付	名称	出席者	方法	所要時間	実施内容
全体	開講前	3月22日	コアチューター研修会	コアチューター、DAC教員、事務	対面	2時間	知識集約型、大正大学、DAC組織、I類科目、学修支援方針、履修、施設説明など
		7月14日	夏期面談研修	コアチューター、クラスチューター、DAC教員、事務	オンライン	1時間	夏期面談実施に向けた留意点
		1月11日	冬期面談研修	コアチューター、クラスチューター、DAC教員、事務	オンライン	1時間	冬期面談実施に向けた留意点
データ サイエンス	開講前	3月27日	コア研修	コアチューター	対面	4時間	データサイエンス科目の業務について
		2月26日	講師会#1	新任教員、新任コア、新任クラス	対面/オンライン	1時間30分	大正大学の教育方針、データサイエンス教育の位置づけ他、チームティーチングについて(教員とチューターの役割)
		3月5日	講師会#2	新任教員、新任コア、新任クラス	対面/オンライン	1時間30分	シラバス確認と授業の進め方、成績評価について
		3月26日	講師会#3	教員、コア、クラス全員(一部新任のみ)	対面	4時間	令和5年度DS教育方針、チーム別ミーティングなど 大学で使用するアプリケーションの使い方(LMS含む)
		2月26日~	Tableau研修#1~3	新任教員、新任コア、新任クラス	対面	2時間×3日間	Tableau研修 (Tableau未経験者のみ対象)
	2QT前	4月3日~	SA研修	SA (3回に分けて開催)	対面	1時間	1QT授業開始前のSA研修, チームビルディング
		6月13日	産官学連携分析研修	コア、SA (3年生・4年生のみ、連携先ごとに開催)	対面	1時間40分	データサイエンスVの産官学連携の取り組み前に、連携先ごとのデータ分析を使って研修
	4QT前	11月22日	SA研修	SA (3回に分けて開催)	対面	1時間	4QT授業開始前のSA研修 (1・2QTのふり返りと4QTに向けた目標設定)
		11月29日	産官学連携分析研修	コア、SA (3年生・4年生のみ、連携先ごとに開催)	対面	1時間40分	データサイエンスVIの産官学連携の取り組み前に、連携先ごとのデータ分析を使って研修
		10月22日	Tableau研修#4	コア、クラス (※R6からシニアSAも対象)	対面	4時間	コア、クラス向けTableauハンズオン研修
		11月5日	Tableau研修#5	教員	対面	2時間	教員向けTableauハンズオン研修
探究	開講前	11月19日	講師会#4	教員、コア、クラス	オンライン	2時間	第4QTに向けた講師会
		3月27日	コア研修	コアチューター	対面	3時間	探究科目の業務について
		3月20日	講師会#1	教員、コアチューター	オンライン	1時間30分	探究科目(全体・各科目)について
	1・2QT後	3月28日	顔合わせ会	教員、コア、クラス	対面	3時間	探究科目の運営、学修支援について、各クラス担当ミーティング
		8月上旬	講師会(各科目)#2	教員、コアチューター	オンライン	1時間	1・2QT振り返り
		10月下旬	講師会(各科目)#3	教員、コアチューター	オンライン	1時間	第4QTに向けた講師会
4QT後	2月	講師会(各科目)#4	教員、コアチューター	オンライン	1時間	年間振り返り	
リーダー シップ	開講前	3月	講師会#1	教員、コアチューター	対面	1時間	リーダーシップ科目について
	1QT後	6月	講師会#2	教員、コアチューター	対面	1時間	振り返り



# 学びの技法の修得支援施策: 学びのコミュニティ

- 探究科目であつかう「**学びの技法**」の修得支援を目的
- コアチューターが科目教員と相談して**授業と連動させ企画・運営**
- イベントは大正大学附属図書館と共催
- DACとしては**月1～2回開催(1回約60分)**

## 令和6年度 1・2QT実施イベント

4月	新入生必見！ Power Point基礎スキル習得イベント
	課題必須スキル！ Word基礎講座
5月	リフレクションが変わればあなたの学びが変わる！～成長に繋がるリフレクションの書き方講座～
6月	Power Point基礎スキル習得イベント 2～スライドの視覚効果を高めよう～
	エンジョイ！キャンパスライフ！～上手な時間の使い方～
7月	自然の探究 レポート相談

### 総合学修支援施設（8号館）「学びのコミュニティ」イベント案内

#### 「学びのコミュニティ」とは？

総合学修支援部と図書館情報メディア部は学生が「自ら学び続ける」「主体的な学びができる」ようになるためのサポートを行って参ります。その一環として、全学生を対象に開催する課外講座が「学びのコミュニティ」です。



8号館では図書館職員・チューター・教員らによるさまざまなイベントを開催します。  
ぜひご参加ください！

※内容は変更する場合があります

日時	タイトル/内容	担当 (敬称略)
4/17 (水) 17:15～18:30	<b>はじめての写経～般若心経を写経してみよう～</b> 写経は経典を広めるために行われたのが始まり。祈願や供養を目的とする他にも集中力や思考力を高めるために行うこともあります。今回実施する「般若心経」は「大般若心経」という600巻にも及ぶ経典の真髄を276文字にまとめたものです。 持ち物：なし 会場：図書館3階 定員50名（当日参加可）	宗教部 (大正大学)
4/18 (木) 4/26 (金) 16:30～17:30	<b>2024年度入学生対象 春のカタリバ</b> 図書館で学科の枠を超え交流ができるカタリバを開催します！ 当日は先輩学生も参加予定なので学生生活での疑問点なども相談できちゃいます♪ お申し込みのうえ、ご参加ください！ 持ち物：なし 会場：図書館3階 定員30名	DACコアチューター 図書館
4/19 (金) 16:00～17:00	<b>新入生必見！ Power Point基礎スキル習得イベント</b> 大学ではPower Pointを使って資料作成する機会がたくさんあります。「パワーって何？」という人、「この操作で合ってる？」と不安に感じている人、どんな悩みも大歓迎です！基礎からコアチューターがサポートしますので、ぜひ気軽に参加してみてくださいね♪ 持ち物：PC 会場：7号館2階	DAC コアチューター
4/24 (水) 17:15～18:15	<b>トイレの防災 ～能登半島地震の避難所トイレ～</b> 防災に関する講座です。生活に欠かすことができない、トイレは災害時に使えるでしょうか？災害時、トイレはどのように確保され利用されているのかについて知るとともに、今からできる「備え」について学びます。 持ち物：なし 会場：図書館3階	岡山朋子先生 (地域創生学科)
4/25 (木) 16:30～17:00	<b>課題必須スキル！ Word基礎講座</b> 授業では意外と教えてもらえないWordアプリの基本操作について、わかりやすく学べるイベントです。レポート作成で必須になる基礎スキルについて、ワークを通して、楽しく学んでみませんか？ぜひ気軽に参加してみてください！ 持ち物：PC 会場：7号館2階	DAC コアチューター



#### 参加申込方法

添付のQRコードから、お申込みください。  
<https://x.gd/Zr89Y>



定員がある場合は先着順です  
お申し込みはお早めに！



問合せ先：総合学修支援部 (03-5394-3064) or 学修相談コーナー (8号館1階) (03-5980-8450)

図書館情報メディア部 (03-5394-3028) ※平日9:00～17:00 「学びのコミュニティ」のお返事ください

## 学びの技法の修得支援施策: データサイエンス補習プログラム

- データサイエンス科目の「**テスト対策(補習)**」を目的
- コアチューターが科目教員と相談し、**授業と連動させて企画・運営**
- 補習用教材は教員が作成、講義はコアT、シニアSA、教員で実施
- 2024年度\_春学期で**1年生は39回、2年生は38回**開講  
 (1回あたり約30分)

【事例】データサイエンス I\_ 期末テスト対策補習実施一覧

講義	テスト	内容	日付	曜	開始時	所要時	実施形	実施教室
DS I	7回	⑥尺度 (NEW)	5月27日	月	11:00	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	②絶対参照・平均値・最大値・最小値・中央値・最頻値	5月27日	月	12:40	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	①四則演算・SUM	5月27日	月	13:30	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	⑤並べ替え・フィルター他 (NEW)	5月27日	月	15:20	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	②絶対参照・平均値・最大値・最小値・中央値・最頻値	5月27日	月	15:20	0:30	対面	754
DS I	7回	③書式設定・行列挿入削除	5月27日	月	16:00	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	⑤並べ替え・フィルター他 (NEW)	5月27日	月	17:10	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	⑥尺度 (NEW)	5月28日	火	11:00	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	④IF関数・COUNT IF	5月28日	火	11:00	0:30	対面	741
DS I	7回	③書式設定・行列挿入削除	5月28日	火	12:40	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	①四則演算・SUM	5月28日	火	15:20	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	⑥尺度 (NEW)	5月28日	火	16:00	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	④IF関数・COUNT IF	5月28日	火	17:10	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	③書式設定・行列挿入削除	5月29日	水	10:20	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	④IF関数・COUNT IF	5月29日	水	11:00	0:30	対面	DSラーコモ
DS I	7回	⑥尺度 (NEW)	5月29日	水	13:30	0:30	対面	765
DS I	7回	★なんでも相談会 ※待つ可能性はあります	5月29日	水	15:20	0:30	対面	DSラーコモ



コアチューターによる2年生のテスト対策の補習  
 @DS科目用のラーニング commons (DSラーコモ)

## 学生によるデータサイエンスの学修サポート体制

- チューターとSAが協力して授業内外の学修支援を展開
- シニア・スチューデント・アシスタント(シニアSA)制度を導入  
 シニアSAは、クラスチューターと同様、個々の学修支援にプラスしてクラス全体を見つつ、マネジメント業務をおこなう。

勤務経験が原則1年以上の3・4年生よりシニアSAの勤務を希望した者

### SA、シニアSA、クラスチューター、コアチューターの主な役割

	授業準備および学修支援など	SAのマネジメント	SA、チューター、シニアSAのマネジメント
SA	○		
シニアSA	○	○	
クラスチューター	○	○	
コアチューター	○	○	○



授業風景



授業でのSAの支援の様子

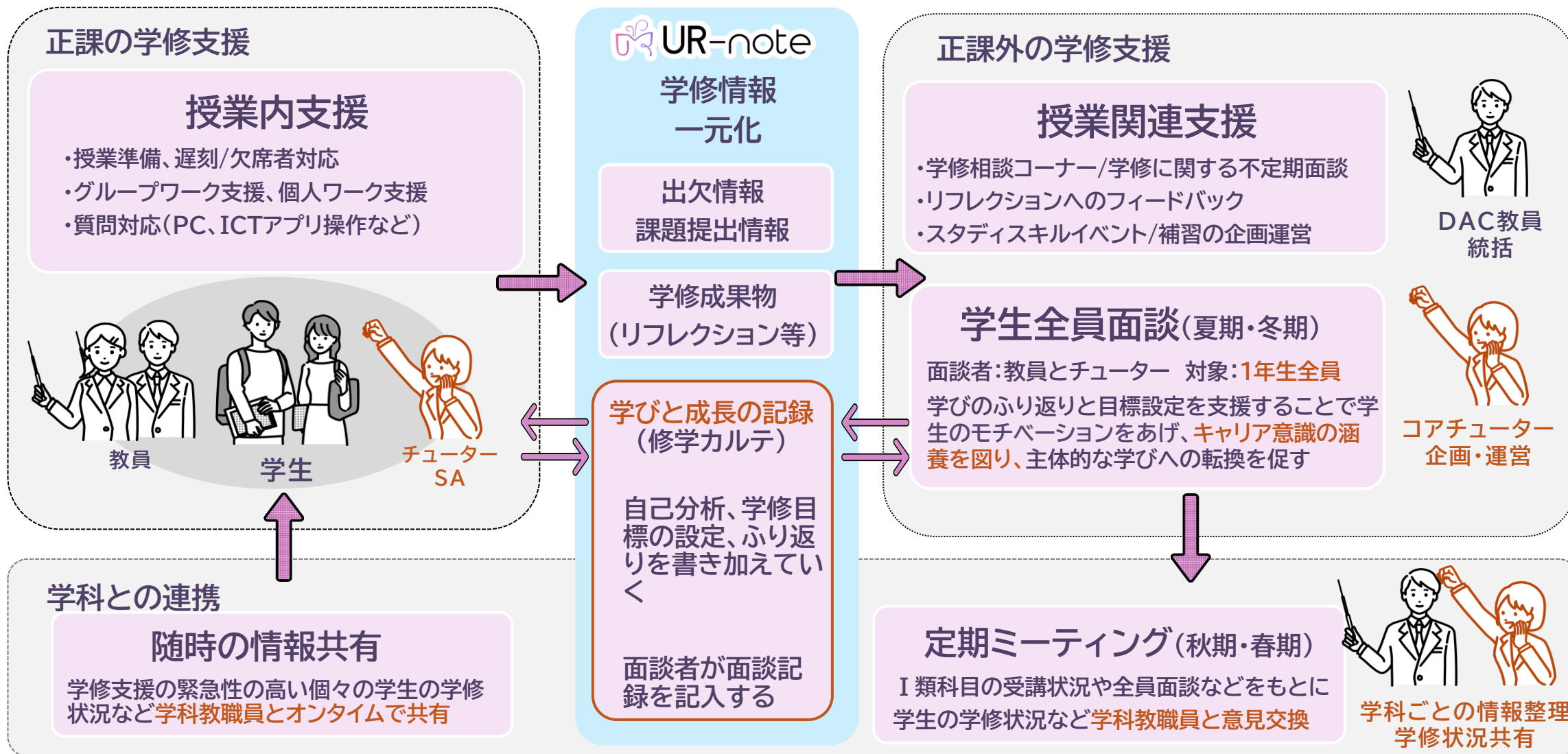
### 3.これまでの取り組みの成果

# 環境変化に対応しながら組織的学修支援の体制を整える

スタートアップ期から安定期へ→これまでの取り組み・成果をあらためて検証していく時期に…

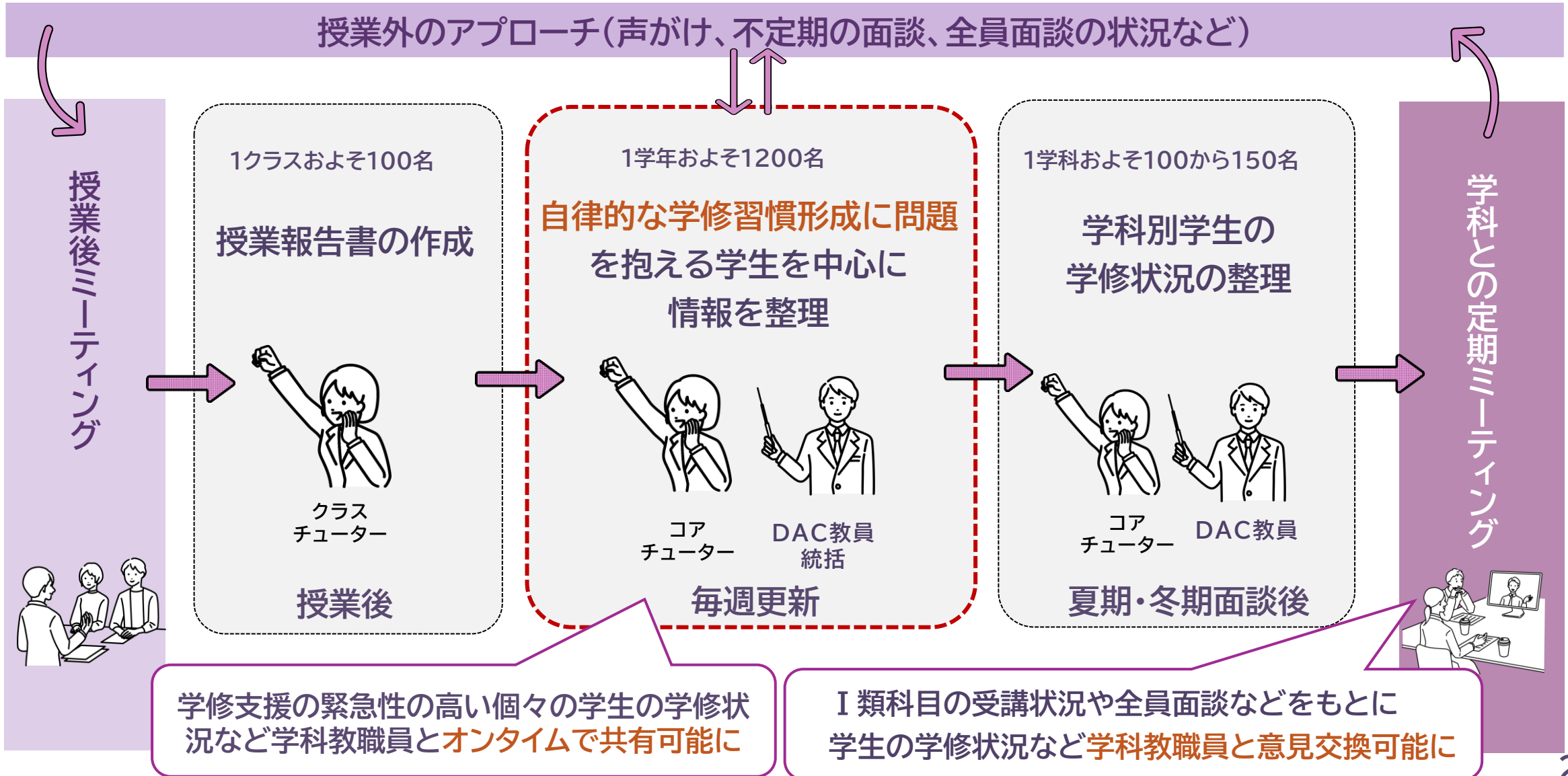
学修支援の主な取り組み	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学修支援のあり方	コロナ禍 知識集約型社会を支える人材育成事業採択			コロナ5類移行	現在
学修支援のあり方	DACの理念を念頭に各自が取り組み		不文律の取り組みを整理して方針策定(体系化)	各科目の重点目標と「学びの技法」の関係を再整理	
夏期・冬期全員面談	社会創造系学群1年	全1年生対象	全1年生対象 学生傾向の分析的な報告開始	全学DPの改編にともなうI類の教育目標の改訂により	
学修支援のあり方	2021年度より全学展開・2022年度より対面授業復帰				
学修支援のあり方	学修支援方針にそった面談者アンケート導入				
DAC(I類)と学科(II類)の学修支援上の連携	4QTより4学科と実施	2QTより全学科と実施	2QTより全学科と実施	1QTより全学科と実施	
学修支援のあり方	学科連携の目的や指針を整理		DACの取り組みについて学科に理解が浸透		
学びのコミュニティ	チューター主導の企画	学修支援方針の施策化の試み			科目教員と連携した学びの技法の支援へ
学修支援のあり方	科目教員と連携して年間計画の作成				
チューター育成プログラム	DACが求めるチューター像とマッチしたチューター数を確保するための様々な工夫を模索				

# チュートリアル教育の全体像



# DAC(Ⅰ類教育)と学科(Ⅱ類教育)の「連携」のしくみ構築

授業外のアプローチ(声かけ、不定期の面談、全員面談の状況など)



学修支援の緊急性の高い個々の学生の学修状況など学科教職員とオンタイムで共有可能に

Ⅰ類科目の受講状況や全員面談などをもとに学生の学修状況など学科教職員と意見交換可能に

# 学修相談コーナーの整備と運用状況

## ● 探究科目関連の学修相談コーナー(8号館1F)

- ・授業内容のフォローアップ
- ・課題に関する相談
- ・学修方法の相談
- ・グループプレゼンテーションなどの相談

月～金 9:00～17:30

## ● データサイエンスラーニングコモンズ(7号館2F)

- ・授業内容のフォローアップ
- ・課題に関する相談
- ・学修方法の相談
- ・PC関連の相談(Wi-Fi、機器操作、アプリの使用法など)

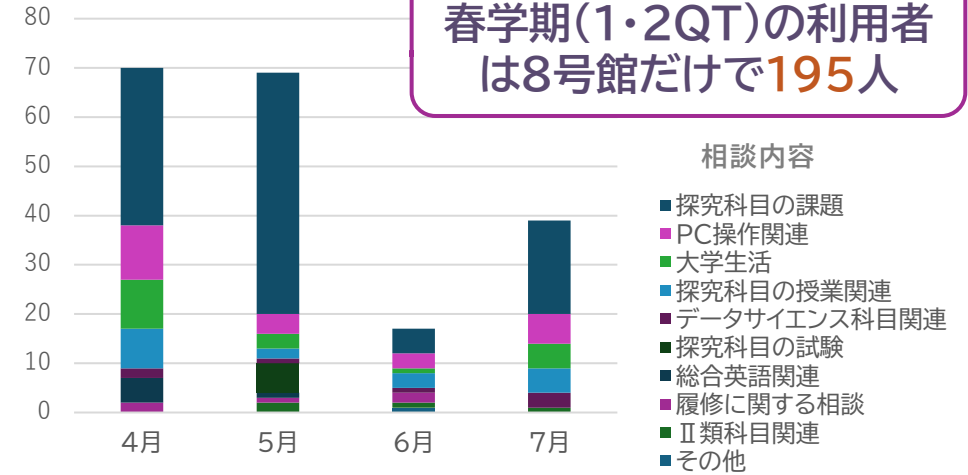
月は11:00～17:30、火水は10:00～17:30、木金は13:00～17:30

## ● 学修支援センター窓口(7号館2F)

- ・総合英語についての相談
- ・その他 I 類科目についての相談

開講期間 月～金 9:00～18:00 (閉講期間 9:00～17:00)

8号館1Fの学修相談コーナーの利用状況(2024年度春学期)



学修支援センター 川嶋 孝幸 コアチューター

新入生が高校生から大学生にスムーズに移行できるようにサポートするのがチューターの使命です。大学で学ぶ意味を見出し、生涯学び続ける人になれるよう支援を行っています。また、チューターは多様な社会経験を持ち見識も豊かです。学内に常駐しているので、気軽に相談しに来る学生も多くいますし、気になる学生にはこちらから声をかけることもあります。先生とは違う立場で、学生の学びに寄り添っています。



## 正課外の学修支援の成果: データサイエンス特別プログラム

- データサイエンスの「学修を資格取得につなげる」ことを目的
- コアチューターが教員と相談して夏休みと春休みの年2回企画・運営
- 講義は教員、模擬試験と補習はコアチューターが実施

データサイエンス特別プログラム\_開講講座一覧

NO	名称	対象の資格・試験	開始時期	令和6年夏期 対受験者数合格率と人数
1	Tableau Desktop Specialist 対策講座	Tableau Desktop Specialist	2022年度 夏～	100% 57名
2	MOS Excel 一般レベル 対策講座	マイクロソフト オフィススペシャリスト Excel 一般レベル	2022年度 夏～	100% 61名
3	MOS Excel 上級レベル 対策講座	マイクロソフト オフィススペシャリスト Excel 上級レベル	2023年度 夏～	88% 59名
4	統計検定4級 対策講座	統計検定 4級	2022年度 夏～	97% 68名
5	統計検定3級 対策講座	統計検定 3級	2023年度 春～	63% 5名
6	【資格取得ではない】 ChatGPTの実践的 活用力の向上のための講座	2日間(10時間)参加した 学生には修了書を発行	2024年度 夏～	修了書発行学生 35名

◆受講者数推移

講座 (講義)	R4夏	R4春	R4計	R5夏	R5春	R5計	R6夏	R6計
Tableau Desktop Specialist	18	25	43	86	25	111	81	81
MOS Excel 一般	93	112	205	142	56	198	98	98
MOS Excel 上級				49	36	85	125	125
統計検定4級	44	31	75	40	15	55	123	123
統計検定3級					12	12	24	24
合計	155	168	323	317	144	461	451	451

◆合格者数推移

講座 (講義)	R4夏	R4春	R4計	R5夏	R5春	R5計	R6夏	R6計
Tableau Desktop Specialist	10	18	28	56	18	74	57	57
MOS Excel 一般	58	82	140	93	44	137	61	61
MOS Excel 上級				36	24	60	59	59
統計検定4級	17	22	39	22	6	28	68	68
統計検定3級					2	2	5	5
合計	85	122	207	207	94	301	250	250

◆対受講者数合格率推移

講座 (講義)	R4夏	R4春	R4計	R5夏	R5春	R5計	R6夏	R6計
Tableau Desktop Specialist	56%	72%	65%	65%	72%	67%	70%	70%
MOS Excel 一般	62%	73%	68%	65%	79%	69%	62%	62%
MOS Excel 上級				73%	67%	71%	47%	47%
統計検定4級	39%	71%	52%	55%	40%	51%	55%	55%
統計検定3級					17%	17%	21%	21%
合計	55%	73%	64%	65%	65%	65%	55%	55%

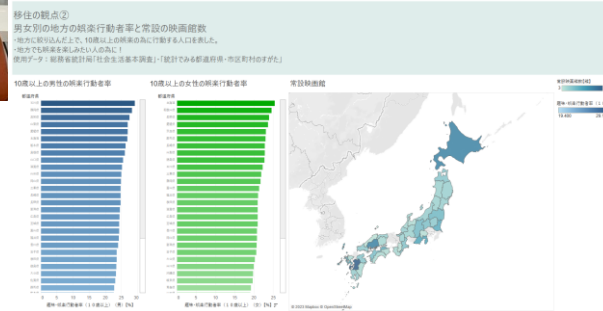
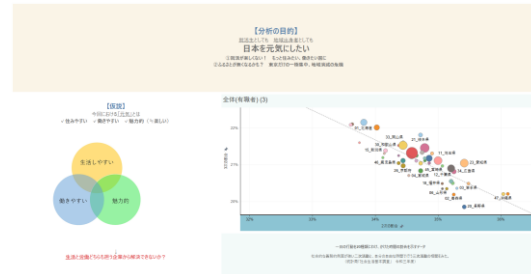
◆対受験者数合格率推移

講座 (講義)	R4夏	R4春	R4計	R5夏	R5春	R5計	R6夏	R6計
Tableau Desktop Specialist	100%	100%	100%	98%	100%	99%	100%	100%
MOS Excel 一般	97%	98%	97%	98%	98%	98%	100%	100%
MOS Excel 上級				95%	100%	97%	88%	88%
統計検定4級	77%	92%	85%	88%	60%	80%	97%	97%
統計検定3級					25%	25%	63%	63%
合計	92%	97%	95%	96%	90%	94%	95%	95%

## 正課外の学修支援の成果:外部コンテストへの出場

- データサイエンス関連のコンテスト出場をコアチューターと教員で連携し支援を実施
- 2021年度から毎年2から3チームがコンテストに参加しており、毎年いずれかのチームが優秀賞などを受賞

**2022年度 学外コンテストへの参加事例 ①**  
 3年生のSA(この春卒業)の有志学生2チーム(7名)が「企業分析AWARD 2022」に参加。  
 うち1チームが「優勝」!

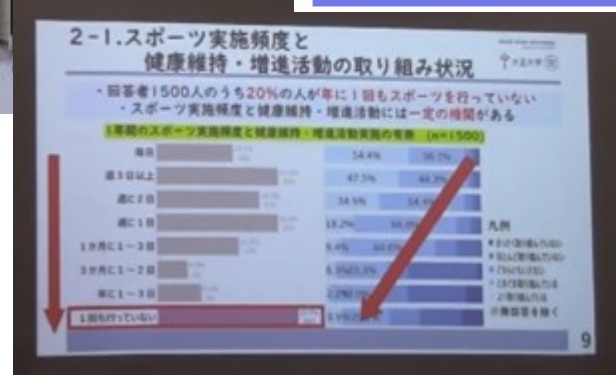


**2023年度 学外コンテストへの参加事例 ②**  
 公共政策学科の2年生(現3年生)の有志学生が三鷹市の「学生による「ミタカ・ミライ研究アワード2023」で「優秀賞」を獲得  
 ※3年連続優秀賞受賞



心も、体も、満タンに。  
**ミタカ・スポーツ**  
 僕らが中年になったとき、変わらず健康でいられるように。  
 みんなで実行せよ! Do Sports!

チーム名: 大正石油  
 メンバー: 湯原優也, 松村斗和, 福田唯哉, 百足明莉

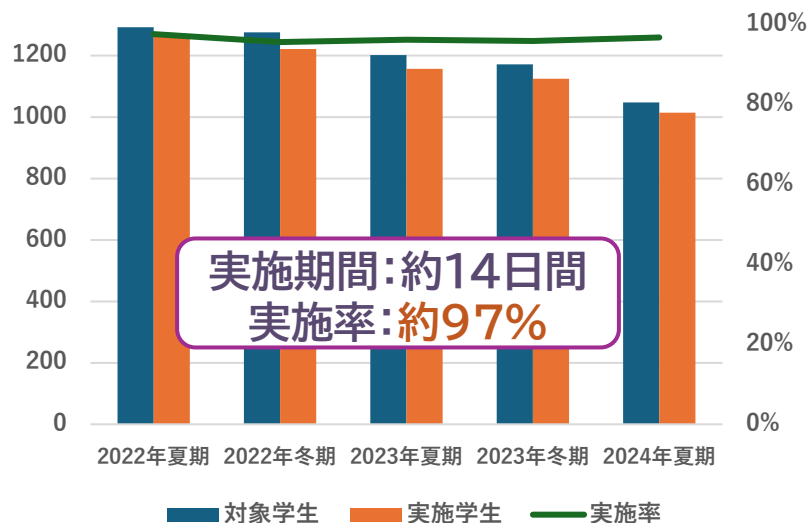


発表タイトル「人々の生活時間に注目して日本を元気にしたい！」  
 見事賞金の30万円も獲得<https://techplay.jp/column/1661>

発表タイトル「心も、体も、満タンに。ミタカ・スポーツ」

## 夏期・冬期学生全員面談の成果

全員面談の実施状況の推移



キャリア意識の  
 涵養を念頭に  
 様々な学びの統  
 合的な言語化を  
 サポート



全員面談(オンライン)の様子  
 「学びと成長の記録」をもとに1人あたり約20分

### 「学びと成長の記録」に反映(2024年度夏期学生面談の記録)

#### 夏期面談の記録 (面談者コメント)

■さんは、やっと大学に慣れてきたとの感想をお話でしたね。一度も欠席がなかったことは、「当たり前のこと」かもしれませんが、しっかりとセルフマネジメントができています。このペースを維持してくださいね。また、グループワークに関しても苦手意識がありながらも発言することに慣れてきたと言っていました。目標をもって取り組んできた成果ですね。ただ、会話がうまくできない人がいること、自分の意見を適切に表現できていないように感じる、との課題があるとのことでした。前者については、継続目標として、3QTのPBLで実践を積んでいくとのことでしたね。後者については、言語化ができるようにリフレクションへに取り組みを意識していくことを話しました。たとえば、将来的な夢であるアニメグッズの企画を実現するためにも、ただ観察するだけでなく、感じたこと等をメモに残し研究ノートをつくってみる、といった実践的アイデアもできましたね。ぜひ試してみましょう。応援しています。

面談直後に担当者が記入  
 400字程度でまとめる

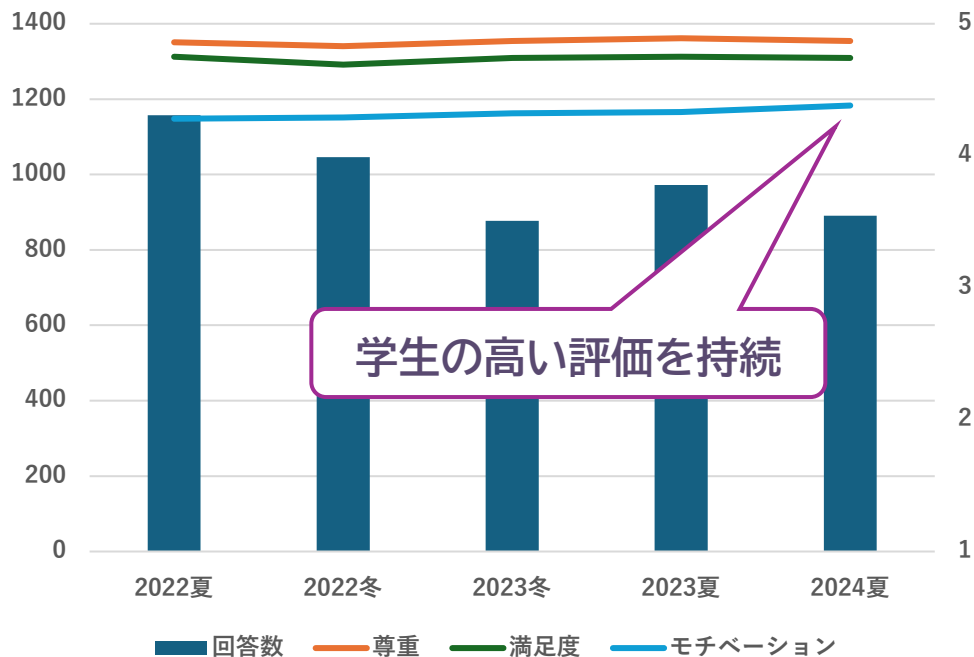
#### 1 面談を踏まえてのアクションプラン (夏休み・3QTの目標・行動計画)

夏休みでは将来就きたい「キャラクターグッズ企画」の夢に一步でも近づけるように、グッズショップに何度も通い、すごいと思ったグッズなどを書き出していく「グッズ研究ノート」を作成する。相手に自分の考えていることを伝えることに対する苦手意識を解消するために、リフレクションなどを使用して自分の考えをまとめる練習をする。そして3QTのグループワークで自分の意見を発言する際にそれを活かせるようにしたい。

面談後に学生自ら記入

## 全員面談の学生の受け止め方

面談に対する学生アンケート



### アンケート方法

面談終了後にMicrosoft Formsを用いて実施

### 【主な質問項目】

- ・面談者はあなたの考えを尊重しながら面談してくれましたか？(5件法)
- ・面談の満足度を教えてください(5件法)
- ・面談によって大学で学ぶことのモチベーションは上がりましたか？(5件法)

### 「学びと成長の記録」や面談に関する上級生の声



文学部 人文学科  
国際文化コース 4年  
赤野間 妃葵さん

1年次の「人間の探究」で作成した、大学入学までを振り返る「ライフラインチャート」や大学4年間の学びの計画を立てる「学びと成長の記録」は、自分自身を見つめ直す機会となり、自分の長所に気づくことができました。アットホームな雰囲気にならなくて入学しましたが、先生とのやり取りの中で自分にやれることは何だろうと考え始め、3年次にインターンシップで海外へ行きました。現地の課題解決に第I類科目で学んだスキルが役立ったことは嬉しかったです。この経験をきっかけに今では海外に関わる仕事に就きたいと考えています。

「チュートリアル教育」を活かして、  
自らのキャリア形成に関連づけながら  
様々な学びの統合して主体的な学びを展開



**MAKE  
YOUR  
UNIVERSE.**

一緒にだからつくれる世界を。

活動の詳細は、ぜひDACブログをご覧ください。

[DAC\(学修支援センター\) | 大正大学\[公式サイト\] \(tais.ac.jp\)](https://tais.ac.jp)



# TO THE FUTURE LEADERS

～未来のリーダーたちへ～

2025年 2月 3日 月  
13:00～16:00  
(12:30 受付開始)



PROGRAM

## 会場

大正大学  
8号館ラーニングcommons

## 参加費

無料

## お申し込み

二次元コードまたは以下の  
フォームよりお申し込みください  
<https://forms.office.com/r/Nb9cqlE3qkm>



## 主催



●お問い合わせ  
TAIS PITCH コンテスト事務局  
MAIL: [entreatl@mail.tais.ac.jp](mailto:entreatl@mail.tais.ac.jp)  
TEL: 03-3918-7311 (代表)  
●アクセス  
東京都豊島区西巣鴨 3-20-1  
都営地下鉄三田線 西巣鴨駅下車 A3 出口 徒歩 2分  
JR 埼京線 板橋駅東口下車 徒歩 10分  
池袋駅東口から都バス 堀割バス停下車 徒歩 2分

### 01 開会挨拶

神達 知純  
大正大学 学長

### 02 基調講演

To the future leaders  
～日本の未来を共に創る挑戦～

川口 盛之助氏  
株式会社盛之助 代表取締役社長 / 日経BP社 日経BP総研 未来ラボ 客員研究員 /  
技術とイノベーションの育成に関するエキスパート / 未来学者



### 03 TAIS PITCH CONTEST

### 04 パネルディスカッション

#### ファシリテーター

前田 長子  
大正大学 教授

#### パネラー

川口 盛之助氏  
株式会社盛之助 代表取締役社長 / 日経BP社 日経BP総研 未来ラボ 客員研究員 /  
技術とイノベーションの育成に関するエキスパート / 未来学者

黒田 佳奈子氏  
株式会社ウーマンカレッジ 代表取締役

小林 浩氏  
リクルート進学総研 所長 / カレッジマネジメント編集長

TAIS PITCH CONTEST 発表学生・卒業生  
(50音順)

### 05 TAIS PITCH CONTEST表彰式

### 06 大正大学の取組について

### 07 閉会挨拶

シンポジウム  
開催にあたってのご挨拶  
前田 長子



基調講演 演者のご紹介  
川口 盛之助氏

大正大学の創立100周年記念事業の一環としてスタートした「アンブレプレナーシップ育成教育プログラム」は、今年で3年目を迎えます。この節目に、3年間の成果を共有し、次世代のリーダーを育成するための「第1回大正大学アンブレプレナーシップ育成シンポジウム」を開催する運びとなりました。本シンポジウムでは、学生たちが斬新なアイデアや学びの成果を発表し、著名な起業家との対話を通じて新たな視点を得る貴重な機会を提供します。地域社会が抱える様々な課題に挑む若者たちの成長と挑戦と共に感じ、次の一步を考えるきっかけとさせていただければ幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

株式会社 盛之助代表。慶応義塾大学工学部卒、米イリノイ大学理学部修士課程修了。日立製作所を経てアーサー・D・リトルに参画。各種業界の戦略立案プロジェクトに広く携わり、同社アソシエイト・ディレクターを務めたのちに、株式会社盛之助を設立。国内のみならずアジア・中東各国の政府機関からの招聘を受け、イノベーションやブランディングに関するコンサルティングを行う。技術とカルチャーを体系的に紐付けたユニークな方法論を展開し、著作「オタクで女の子のモノづくり」は「日経 BizTech 図書賞」を受賞。世界4か国語にも翻訳される。近著「メガトレンド」シリーズでは、精緻で広範な未来予測の方法論を展開し、ビジョナリストとして各界で高い評価を受ける。同書の世界観をベースにした文部科学省の将来社会ビジョン策定プロジェクトや、自由民主党の「国家戦略本部」におけるビジョン策定などにも携わる。

詳細はこちら: <https://morinoske.com/about/>

## ファイナリスト紹介

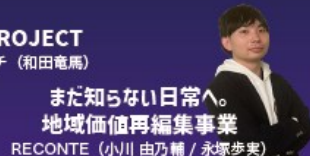
TAIS PITCH CONTESTにご応募いただいた26組の中から、ファイナリストとして選出された6組をご紹介します。

すべての人に人生の選択を!

ゆーすふるプロジェクト  
ゆーすふる (長田のぞみ)



DIS PROJECT  
ラフィット (和田竜馬)



まだ知らない日常へ。  
地域価値再編集事業  
RECONTE (小川 由乃輔 / 永塚歩実)

全国の若者と新潟県南魚沼市との  
人材マッチング & 人材育成事業  
yukinowa (田中暁樹 / 佐藤卓音)



Campus de 足湯

銭湯コミュニティ班  
(篠原 温之清 / 土田 穂香 / 門 美優 / 上野 颯斗 / 名倉 拓海)



地図とGISの力で広げる地域と人材創造事業  
だだんだん+ (後藤田 雄星 / 岩淵 英吾 / 菊地 琉生 / 徳樂 龍也 / 矢口 哲光)

